石神井池 水辺しんぶん

かいぼりを軸とした水辺再生の取組をつたえる

No. 1
2021年9月

登録番号（3）1

発行
東京都東部公園緑地事務所
https://www.kensetsu.metro.tokyo.lg.jp/jimusho/toubuk/index.html

編集
認定NPO法人 生態工房
https://www.eco-works.gr.jp/

かいぼり実施！

ここから始まる、池の自然再生

都立石神井公園「石神井池」は、水質悪化や外来魚の増加といった課題を抱えていました。その対策として、東京都が関係する地域団体等と準備を進めてきた「かいぼり」を2021（令和3）年1月から3月にかけて行いました。

石神井池を干し上げるのは1986年の浚渫以来、35年ぶりのこと。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、イベントは中止しましたが、排水や池底の干し上げ、外来魚駆除、浅場整備といったさまざまな作業を行いました。

陸に上げたボート

かいぼりとは？

干し上げ中の石神井池

池底を干し上げ、水門などの施設や堤体の点検、補修を行います。排水時に魚を捕ることも。

もともとは「ため池」の管理作業でしたが、水質改善や外来魚防除の効果が注目され、生物多様性保全を目的として公園などの池や濠で行われる例が増えています。

かいぼりで捕獲した主な生きもの

国内・国外外来種

保護対象種

石神井池かいぼり写真館

排水開始

1月6日から排水開始。
始めは堰（せき）からの自然排水で、
その後はポンプによる排水を
行いました。
2月24日まで干し上げ、25日
から水を貯め始めました。

排水作業

よく干し上がった
場所はひび割れが
できました！

水溜りを解消するために、
澪筋（みおすじ）（水路）を掘りました。
泥にはまりながらも、
長い水路を掘りました。

水を戻した石神井池。
池底までくっきり見えます！

池の水を減らしながら魚を捕り、外来魚の駆除と、保護する在来魚の救出をしました。排水困難な区域があり、外来魚をすべては捕獲できませんでしたが大型個体の多くを取り除きました。

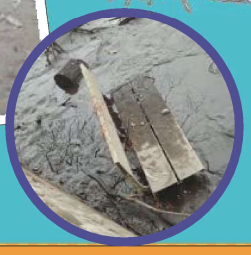
※魚捕り作業は一般参加を取りやめ、園内の保全活動団体等のボランティアと行政職員らで人数を抑えて行いました。

魚捕り作業

キショウブ除去

在来の湿生植物を
再生するために、
岸辺の一画で外来
植物キショウブを
抜根しました。

ゴミ回収



投棄ゴミを回収
しました

浅場整備

池の一画に仕切りを設けて池底の土を
寄せ、水深の浅い
環境を整備しま
した。水生植物が
定着するとトンボ
や水鳥のすみかに
なります。

護岸の補修

池干し中は、池を点検・修理する
良い機会です。護岸が崩れそうな
箇所を補修しました。

これからの取組

モニタリング調査

かいぼり後の自然の回復状況や外来種の動向を把握する目的で、定期的な調査（モニタリング）を行います。調査結果は、本紙やイベントを通じて公表していきます。

協働による保全作業

かいぼりでは対処できない課題に、地域の活動団体や市民との協働で継続的に取り組んでいくための保全作業。岸辺の外来植物駆除や湿地の手入れなどを予定しています。

「石神井池通信」は、今回より「石神井池水辺しんぶん」にかわりました。